

## 第9回東日本大震災小児医療復興新生事務局会議結果

日時 平成30年7月20日(金) 15:00~17:00

場所 岩手県庁12階特別会議室

### 1 開 会

岩手県医師支援推進室高橋担当課長から挨拶。進行も引き続き実施

### 2 自己紹介

議事都合により省略

### 3 報告・協議事項

#### (1) 報告事項

①日本小児救急医学会災害医療委員会東日本大震災継続支援ワーキンググループの活動状況及び報告書について及び③事務局ホームページの構成及び更新について(齊藤医師)

・齊藤医師より、これまでの経緯及び支援の動向について、配布資料及び持参したスライドにより説明。また、事務局ホームページの構成及び更新等について説明。(質疑なし。)

②平成29年度診療応援実績について

・高橋担当課長から応援実績について説明。なお、昨年度支援件数の集計に誤りが生じていたことから、カウントの仕方について、統一した運用を行う旨事務連絡により説明。

④事務局ホームページ「みんなのコメント」「事務局からのお知らせ」掲載用写真・コメントについて

・板倉医師から、各県各医師に対し、ホームページ掲載用に掲載用写真やコメント等の送付を依頼があり、関係者において、各施設案内用に通知文を作成することで合意した。

⑤福島県立医科大学(仮称)保健科学部の設置について

・福島県十文字主任主査より保健科学部の設置構想について、資料3に基づき説明があった(質疑なし。)

⑥復興庁による説明

・復興庁からの申し出により、協議事項に入る前に、資料に基づき厚生労働省の補助事業等について説明があった。また、本取組で作成しているパンフレットについて、復興庁の後援名を入れることは復興庁の後援に関する要綱の目的と合致しないため困難との説明があった。

・事業予算の裏付けとして厚生労働省の医療介護総合確保基金の活用について紹介があったが、各県の事情もあり本取組の事業予算として活用することは困難であったため、復興庁事業で活用可能なものがあれば後日紹介していただくこととなった。

#### (2) 協議事項

①平成31年度以降の事業実施及び事務局運営について(岩手県)

・次年度以降の事務局体制について、現行のまま継続することで了承された。

・募集要項は加工の上、ホームページに掲載しアナウンスすることで合意した。

・福島県立南会津病院などマッチングが低い医療施設への対応について、各病院が募集中であ

る旨の掲載をグーグルカレンダー上で表記することも実施できる施設から取り組むこととして承された。

②診療応援実績の更新頻度について（齊藤医師）

- ・齊藤医師から学会報告のため、実績の報告頻度を年1回から年2回にしてほしいという要望があり、今後は、実績報告を年2回とし、9月末実績を12月まで、3月末実績を翌年度の事務局会議に間に合うように作成することで合意した。

5 その他

○ 次回事務局会議の開催について

- ・次回の事務局会議は、宮城県で開催することについて了承された。

○ 次回検討すべき内容について

- ・本取組の目的や今後のあり方については、震災からの経過を踏まえ、継続的に検討していくこととなった。

6 閉会

閉会后、記念写真撮影（各県毎、集合写真）